



◇葵区―薬剤師が高齢者に交通安全呼び掛け 県警から交通事故に遭いそうな高齢者を見かけたら警察に通報する「高齢者見守り隊」

の委嘱を受けた県薬剤師会は7月1日からの活動実施を前に27日、処方箋調剤に訪れた高齢者に交通安全を訴える声掛け指導を、静岡市葵区のすずらん薬局瀬名中央店で行った。写真。

同店の薬剤師加藤剛さんが「夜の外出は自発光式反射材をつけて」など事故防止の「特效薬」を記した「交通安全処方箋」を来店者に示し、一緒に確認した。加藤さんは「いつも来る患者さんがどのような経路で来店するかを把握しているので、一人一人に合った交通安全のアドバイスができると思う」と話した。

県警によると、高齢者の死亡事故の65%は自宅から約500メートル

内で発生し、地域ぐるみでのアドバイスが効果的という。1日からは県薬剤師会会員の薬局約1400店で「高齢者見守り隊」が声掛け指導に取り組む。